

FM放送波モニター用伝送回線の整備
仕様書

1 目的

近年急増する高層建築物によるマルチパスの影響で、幕張演奏所におけるFM放送波の受信状況が悪化していることから、FM放送波を送信している東京タワーまでの見通しが確保できる花見川固定局で受信したFM放送波の信号を本件で整備する伝送回線（幕張演奏所～花見川固定局間にFM放送波モニター用伝送回線を整備する。）で幕張演奏所へ伝送することにより、幕張演奏所でのFM放送の音質監視を適切にできるように改善する。

2 請負内容

(1) 音声コーディックの調達

表1の規定を満たす音声コーディックを2式調達すること。

(2) 音声コーディックの据付及び調整並びに回線工事

(1)の規定により調達した音声コーディックを図1のとおりに据付及び調整し、さらに、回線工事（伝送試験を含む）を行うこと。

(3) 報告書の提出

(1)及び(2)に規定の作業が完了後、速やかに、作業内容及び結果を記載した報告書3部を放送大学学園に提出すること。

3 実施場所

幕張演奏所（千葉市美浜区若葉2-11）

花見川固定局（千葉市美浜区打瀬3-103-2）

4 納期

平成27年3月31日

5 作業時間

原則として昼間作業とする。

6 その他

(1) 請負者は作業実施前に作業内容及び工程を記載した作業届を放送大学学園に提出し承認を得ること。

(2) 請負者は作業実施前に放送大学学園と連絡を密に取り、誤認及び行き違いがないように連携して作業を円滑に進めること。

(3) 請負者は放送障害、事故及び災害の防止のために、常に運用状況及び安全に注意を払い現場管理を行うこと。

(4) 請負者は作業に当たり、適切な工具を使用すること。なお、放送大学学園からの工具及び測定器の支給はない。

(5) 請負者は作業後の片づけ及び室内の整理整頓を徹底すること。

(6) 請負者は放送大学学園の事業の公共性及び重要性を十分認識し円滑な作業遂行に努めること。

(7) 検収後1年以内に、音声コーディックの不良又は通常の使用における障害が発生した場合、請負者は速やかに無償で修復すること。

(8) 本仕様書に規定のない事項が生じた場合又は疑義が生じた場合には、請負者と放送大学学園で協議のうえ取り扱うものとする。

表 1 音声コーデックの仕様

項目	仕様
コーデック	
音声符号化方式	SB-ADPCM
音声帯域	20Hz~22.5kHz
サンプリング周波数	48kHz
量子化ビット数	24bit
ETHER インターフェース	
インターフェース	IEEE802.3 準拠 10BASE-T/100BASE-TX 自動選択×1 (RJ45)
LINE 入力インターフェース	
チャンネル数	2ch (L, R)
標準信号レベル	+4dBm/1000Hz
インピーダンス	600Ω±20% (平衡)
コネクタ	キャノン 3P メス
LINE 出力インターフェース	
チャンネル数	2ch (L, R)
標準信号レベル	+4dBm/1000Hz
インピーダンス	600Ω±20% (平衡)
コネクタ	キャノン 3P オス
電源	
電源	AC100V±10%

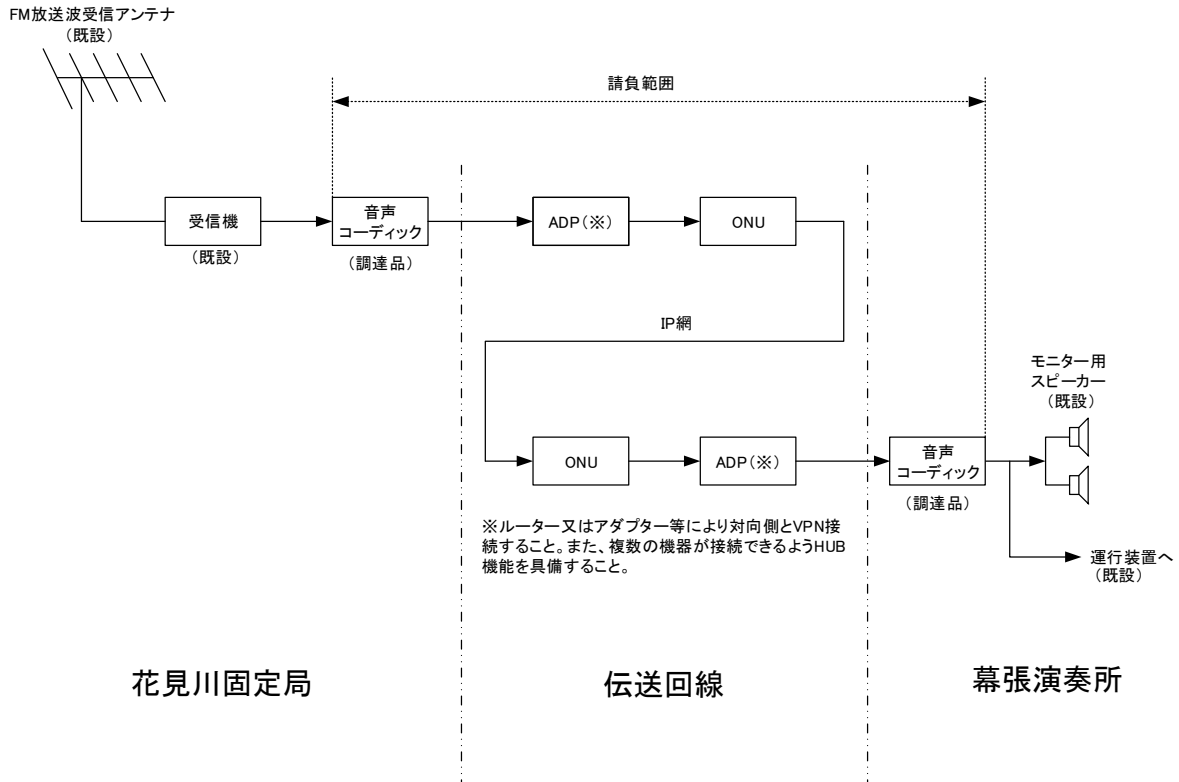


図 1 伝送回線構成図